

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果の公表について

平戸市教育委員会

I 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 教科に関する調査

- (1) 調査対象：小学校第6学年の児童（国語・算数）、及び中学校第3学年の生徒（国語・数学）
- (2) 出題範囲：調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とする。
- (3) 出題内容：以下の①と②を一体的に問う。
 - ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- (4) 出題形式：国語・算数・数学では、記述式の問題を一定割合で導入する。

3 質問紙調査

- (1) 調査対象：小学校第6学年の児童及び中学校第3学年の生徒
- (2) 調査内容

児童・生徒に関する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

4 調査日

令和3年5月27日（木）

5 平戸市の調査実施校・児童生徒数

小学校 250人(15校) 中学校 245人(8校) 計495人(23校)

II 平戸市の結果の概要

1 平均正答率の全国との比較

校種	小学校		中学校	
	国語	算数	国語	数学
結果 (本市)	+	+		
結果 (全国)	64.7	70.2	64.6	57.2

※結果「+」…平戸市の平均正答率が全国正答率以上のもの

<結果の総括>

小学校国語において国語、算数共に初めて全国平均を超えた。領域別に見ると、小学校では、国語は「言語の特徴や使い方に関する事項」「書くこと」、算数は「数と計算」「図形」「測定」において全国平均を上回っている。中学校では、全国平均を上回っている領域はない。数学に落ち込みが見られ、特に「数と式」に課題がある。

2 各教科別の成果と課題及び改善策

【小学校】

教科	成果 (○) 課題 (●) [設問番号] 改善策 (※)
国語	<p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。 [3三]</p> <p>○文の中における主語と述語との関係を捉える。 [3三]</p> <p>●資料を用いた目的を理解する [1二]</p> <p>※「資料を活用する」とは、音声言語だけでは理解しにくかったり、誤解を招きそうだったりする場合などに資料を使いながら話すことである。その際、聞き手の立場に立った上で、話す内容を見直すとともに目的に応じて、どのような資料を準備し、どのように使うかということを確認にすることも大切である。</p> <p>●目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する [2四]</p> <p>※要約するとは、文章全体の内容を正確に把握した上で、元の文章の構成や表現をそのまま生かしたり自分の言葉を用いたりして文章の内容を短くまとめることである。同じ文章でも、要約する目的によって内容の中心となる語や文は異なる場合がある。文章を要約するためには目的に応じて文章全体から必要な部分を選び、内容を端的に説明することが大切である。その際、要約する分量などについても目的に応じて考えることが必要である。</p>

算 数	<p>○複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる。〔2〕(2)〕</p> <p>○データを二次元の表に分類整理することができる。〔3〕(3)〕</p> <p>●速さを求める除法の式と商の意味を理解している。〔1〕(3)〕</p> <p>※どちらが速いかを比べる際には、単位量を道のり又は時間で比べる場合があり、どちらを単位量として設定しているかについて考え、速さを求める除法の式と商の意味を理解できるようにすることが重要である。</p> <p>●三角形の面積の求め方について理解している。〔2〕(1)〕</p> <p>※図形の面積の学習では、公式を導き出す過程において、図形のどこの長さに着目すると、面積を求めることができるのかを理解できるようにすることが重要である。また、公式を用いて面積を求める際には、底辺と高さの関係を理解し、必要な情報を選び出すことができるようにすることも重要である。</p>
-----	--

【中学校】

教 科	成果 (○) と課題 (●) 及び改善策 (※)
国 語	<p>○話合いの話題や方向を捉える。〔1〕一〕</p> <p>○文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ。〔3〕四〕</p> <p>●文脈の中における語句の意味を理解する。〔3〕一〕</p> <p>※文学的な文章を読むためには、言葉を手掛かりにしながら文脈をたどり、観点を定めて読むことが必要であり、そのことによって深い理解や感動が得られる。文章の中の時間的、空間的な場面の展開、登場人物の相互関係や心情の変化、行動や情景の描写などに注意しながら読み進めるように指導することが大切である。</p> <p>●登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。〔3〕三〕</p> <p>※文学的な文章を読む際には、登場人物の言葉や行動が話の展開などにもどのように関わっているかを考えながら読むよう指導することが大切である。その際、これまでの「C読むこと」の学習を踏まえて、個々の場面や描写から直接分かることを把握するだけでなく、複数の場面を相互に結び付けたり、各場面と登場人物の心情や行動、情景等の描写とを結び付けたりすることによって、場面や描写に新たな意味付けを行うように指導することが大切である。</p>

数 学	<p>○問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。〔6〕(1)〕</p> <p>●具体的な場面で、一元一次方程式をつくることができる。〔2〕</p> <p>※問題解決の場面で方程式を活用する際に、問題の中にある数量やその関係を捉え、一元一次方程式をつくることができるように指導することが大切である。また、具体的な問題を方程式を活用して解決する際に、問題の中にある数量やその関係を捉え、等しい数量関係に着目して方程式をつくり、それを解き、求めた解を問題に即して解釈し、問題の答えを求めるといった一連の活動を経験することにより、方程式を活用することのよさや意義を実感できるようにすることが大切である。</p> <p>●与えられたデータから中央値を求めることができる。〔5〕</p> <p>※データの特徴を捉えるために、代表値を求めることができるように指導することが大切である。その際、目的に応じてデータ全体を表す指標としてふさわしい代表値を選択し、それを的確に求める活動を取り入れることが考えられる。</p> <p>●目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。〔6〕(2)〕</p> <p>※事柄が一般的に成り立つ理由を、構想を立てて説明する場面を設定し、文字式や言葉を用いて根拠を明らかにできるように指導することが大切である。</p>
-----	--

3 児童・生徒質問紙による児童・生徒の特徴（全国の割合との比較）

（○：高い状況 ●：低い状況）

【児童】

- 朝食や就寝時間など基本的な生活習慣を意識して生活している。
- 今住んでいる地域の行事に参加している。
- 授業でコンピュータなどのICTを活用したいと思っている。
- 学校の授業以外で、英語を使う機会があまりない。
- 国語の授業において、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしている等、学習内容の取組について、消極的な意見が多い。
- 国語の回答時間が足りなかったと感じている児童の割合が多い。

【生徒】

- 朝食や就寝時間など基本的な生活習慣を意識して生活している。
- 今住んでいる地域の行事に参加している。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に意欲的に取り組んでいる。
- 授業でコンピュータなどのICTを活用したいと思っている。

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大で学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていた。
- 数学の勉強が好き、数学の授業の内容はよく分かると答える生徒の割合が少ない。
- 1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていないと答える生徒の割合が多い。
- 学校の授業時間以外の1日の学習時間が少ない。
- 全ての教科において「調査問題の解答時間が不足している」と答える生徒の割合が多い。

Ⅲ 平戸市の今後の取組

- 1 各学校の調査結果及び市全体の調査結果の分析による課題の把握
※全国学力・学習状況調査、長崎県学力調査、平戸市学力調査
- 2 各学校で作成する『学力向上プラン』の内容の精査及び実践に対する指導助言
- 3 各種研修会（管理職研修会、教務主任研修会、研究主任研修会、初任者研修会等）における学力向上に関する指導助言
- 4 ICT機器を効果的に活用した授業改善のための研修会の実施
- 5 平戸市学力向上会議の開催とそれを受けての各学校への指導